



# かけはし

連合長崎大東・壱岐・対馬  
地域協議会  
大村市西三城町9-1 勤労者センター内  
TEL0957-48-6045  
発行責任者：川本良美  
2021年8月4日 第12号

## 2021「平和行動 in 長崎」

被爆76年 語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で、核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう

今年も「連合平和ナガサキ集会」をはじめとした各種平和行動が取り組まれます。今回は「核兵器禁止条約」発効後、初めての平和行動となります。今後の新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、大規模な集会は開催できませんが規模を縮小して開催されます。

連合2021 平和ナガサキ集会 8月8日(日)15:30~17:30

場所 長崎県立総合体育館 開催規模 270人

県外からの参加者は少数の関係者のみとし、県内の構成組織及び各地協からの参加体制となります。連合大東・壱岐・対馬地協からの参加は規模縮小の為、大東地区役員・幹事で参加予定です。

組合員の皆さん、ご家族のみなさん《平和集会 WEB 配信》視聴での集会参加をお願いします。

戦後76年、被爆地である長崎の地から世界に向けて「核兵器廃絶」と「恒久平和の実現」を広く発信します。76年前に何が起こったのか、そのために今もなお多くの方が苦しんでいることについて、私たちはそれぞれの立場で考えなければいけません。世界から核兵器なくなるその日まで、声を上げ続けましょう。あらためて、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会とし、次代へと語り継ぐため、WEB 配信をぜひご覧ください。

<https://youtu.be/mTNfQS75JhA>

連合ホームページ 7つの絆

2021 平和行動 in 長崎



### 平和行動 in 長崎の関連行事

- ①「平和の泉」清掃活動。平和ボランティア活動として、連合長崎青年・女性委員会を中心に取り組みました。7月22日9時~11時、「平和の泉」平和公園内。
- ②折り鶴献納・黙祷 8月9日(月)10時45分~11時10分。爆心地公園において県外参加者からの折り鶴を中心に献納されます。
- ③万灯作成・万灯流し 例年集合して万灯作成をしていましたが密を避けるために、各構成組織・各地協にて作成し、8月9日(月)に今回は浦上川の川淵に置いて鎮魂を祈ります。

「平和」であることがあたりまえ…とっていませんか？ しかし、未だ戦争の爪痕に多くの人々が苦しんでいるのです。

第二次世界大戦では、約310万人もの日本人が命を落としました。世界で唯一、原子爆弾が投下され、今なお多くの被爆者が後遺症に苦しむ広島と長崎。第二次世界大戦での地上戦を経て、日本返還後も米軍基地が多く置かれ、過度な負担を強いられる沖縄。領土を奪われ、多くの住民が故郷を追われた北方四島。これらの地域においては、戦後76年となる今でも真の平和、安定した社会は実現していません。

連合は平和運動として主に、次の3つの課題に取り組んでいます。

1. 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
2. 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
3. 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

また連合は、毎年6月~9月に行う「平和4行動」をはじめ、労働組合やさまざまな団体・機関と連携・協力し合い、平和運動に取り組んでいます。

### 連合の平和4行動

平和行動 in 沖縄	第二次世界大戦末期、米軍との3カ月に及ぶ「鉄の暴風」とも称される激しい地上戦で約20万人の命が奪われました。特に沖縄出身の犠牲者は約12万2,000人、犠牲者全体の約65%にのぼりました。この悲劇を二度と繰り返さないため、6月23日の沖縄「慰霊の日」に平和の尊さを心に刻んでいます。
平和行動 in 広島	第二次世界大戦終結直前の1945年8月6日午前8時15分、米軍によって原子爆弾が広島に投下。約14万が亡くなり、今も多くの人が後遺症に苦しんでいます。人類史上初めて原子爆弾が投下された広島の地から世界に向けて、悲劇が二度と繰り返されないよう訴え続けています。
平和行動 in 長崎	広島に続き、1945年8月9日午前11時2分、米軍によって長崎にも原子爆弾が投下。約7万4,000人が亡くなり、約7万5,000人が重軽傷を負ったほか、今も多くの人が後遺症に苦しんでいます。長崎の地から世界に向けて、平和への祈りを込め、二度と核兵器が使われないよう訴え続けています。
平和行動 in 根室	北方四島は日本固有の領土ですが、第二次世界大戦終結直後、ソビエトが侵攻。約1万7,291人の日本人住民が故郷を追われました。それ以降、今日まで、ソビエトそしてロシアによる不法占拠が続いています。領土返還と日ロ平和条約の締結なくして真の平和はありません。

### 平和で安定した社会・暮らしの実現をめざして

私たちがめざす「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現には、「社会が平和で安定していること」が大前提です。戦争は、私たちの暮らしだけでなく、あらゆる社会基盤を破壊してしまいます。

そのため連合は、1989年の結成以来、平和運動に積極的に取り組み、世論を巻き起こし、地球規模での“絆づくり”を進めることで、平和で安定した社会・暮らしの実現をめざしているのです。



7月22日、連合長崎「平和の泉清掃」が実施されました。

連合長崎では毎年、平和ボランティア活動として「平和の泉清掃」を行っています。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で連合長崎でも平和行動の縮小を余儀なくされていますが、女性委員会、青年委員会を中心に70名の



参加で実施。今年も長崎みなとロータリークラブも一緒に参加するなど、小規模ながら広がりを見せた取り組みとなりました。また、国民民主党玉木代表をはじめ、西岡秀子衆議院議員、深堀県議、木森長崎市議も一緒に汗をかいて清掃活動に参加いただきました。

原爆の悲惨さとお亡くなりになられた方々へのご冥福をお祈りしつつ、「長崎を最後の被爆地に、核兵器の脅威から未来を守ろう！」との意思を引き継いでいきます。

Go To Peace! (連合長崎ホームページより)